

2020年3月期 第2四半期 決算説明会



NIPPON SEIKI

2019年12月2日

- 2020年3月期 第2四半期 決算概要
- 中長期成長戦略

| | '19年3月期 (期末) | '20年3月期 第2四半期 |
|-----|-----------------|------------------|
| 日本 | 10社 | 10社 |
| 米州 | 7社 | 7社 |
| 欧州 | 2社 | 3社 |
| アジア | 15社 | 15社 |
| 計 | 34社 | 35社 |

(百万円)

| | '19年3月期 第2四半期 | '20年3月期 第2四半期 | 増減率 |
|-----------------------|------------------|------------------|--------|
| 売上収益 | 127,543 | 124,239 | -2.6% |
| 営業利益 | 6,062 | 4,176 | -31.1% |
| 税引前利益 | 7,423 | 3,823 | -48.5% |
| 親会社の所有者に 帰属する四半期利益 | 4,768 | 1,687 | -64.6% |
| 基本的1株当たり 四半期利益 | 83.27円 | 29.47円 | — |
| 為替 (USドル) | 110.26円 | 108.60円 | 1.66円高 |

為替レート（期中平均）実績

2020年3月期
第2四半期

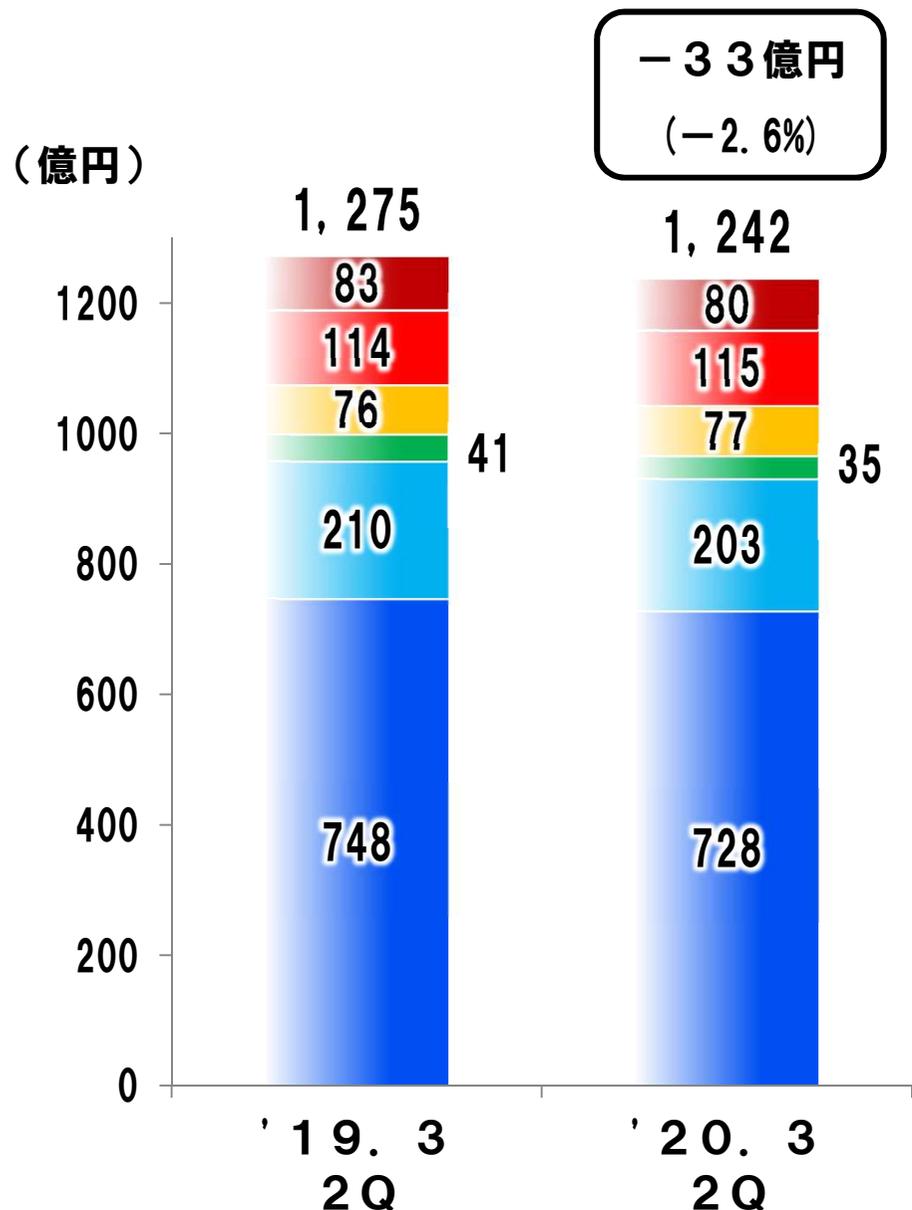
(円)

| | '18年3月期 第2四半期 | '19年3月期 第2四半期 | レート差 | % (-は円高) |
|------|------------------|------------------|----------|-------------|
| USドル | 110.26 | 108.60 | 1.66 円高 | - 1.5% |
| ポンド | 146.84 | 136.64 | 10.20 円高 | - 6.9% |
| バーツ | 3.40 | 3.49 | 0.09 円安 | 2.6% |
| 元 | 16.74 | 15.68 | 1.06 円高 | - 6.3% |

為替感応度 : ドル1円の変動につき、営業利益で0.7億円/年

事業別 売上収益

2020年3月期
第2四半期



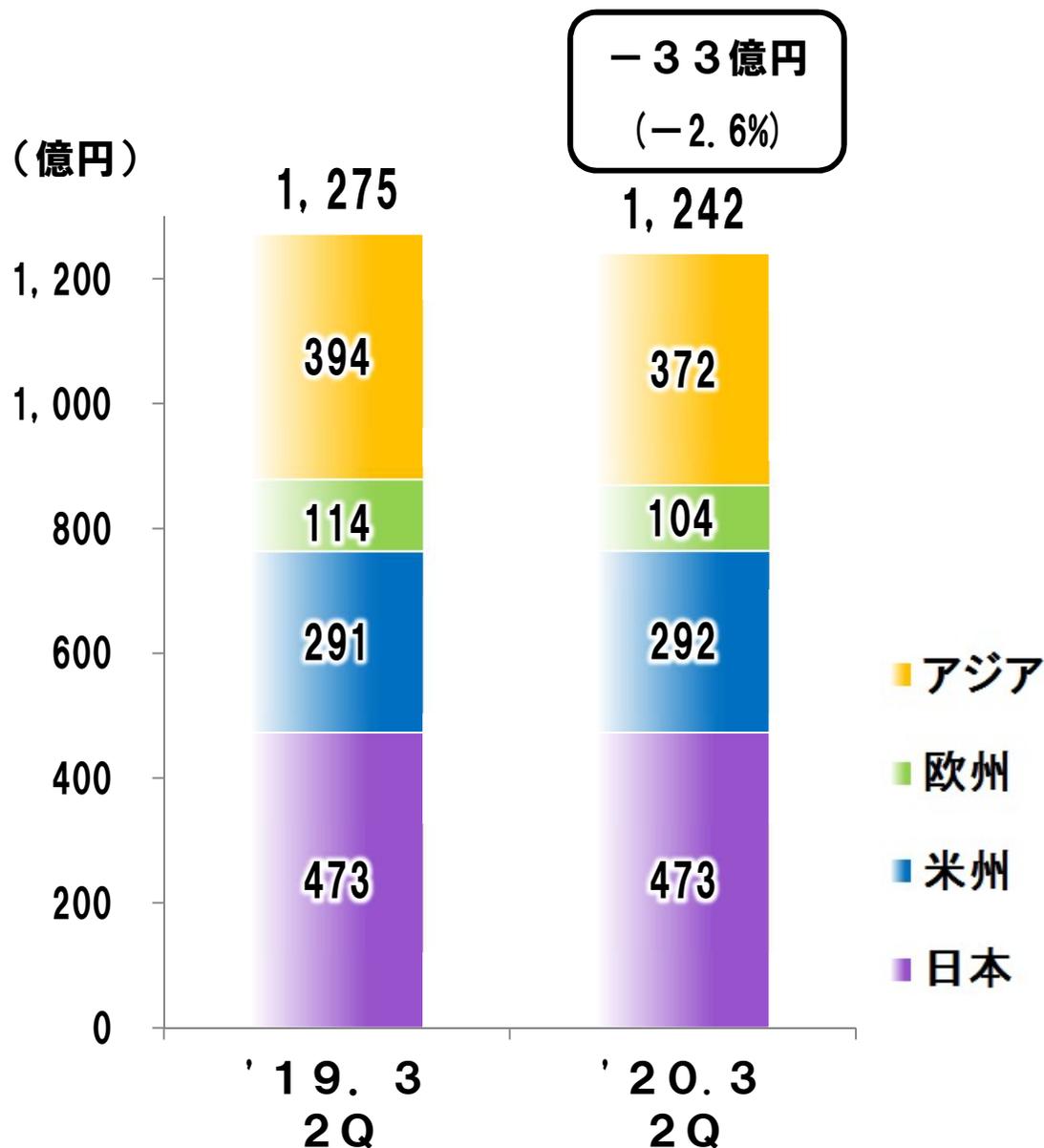
主な増減要因

| | |
|----------|--------|
| ◇計器 | -32 億円 |
| 四輪計器 | -19 億円 |
| 二輪計器 | -7 億円 |
| 汎用計器 | -5 億円 |
| ◇コンポーネント | +1 億円 |
| ◇自動車販売 | +1 億円 |

- その他
- 自動車販売
- コンポーネント
- 汎用
- 二輪
- 四輪

所在地別 売上収益

2020年3月期
第2四半期



主な増減要因

◇日本

| | |
|---------|-------|
| 四輪計器 | +13億円 |
| 二輪計器 | -7億円 |
| 汎用計器 | -6億円 |
| コンポーネント | -1億円 |
| 自動車販売 | +1億円 |

◇米州

| | |
|------|------|
| 二輪計器 | +1億円 |
|------|------|

◇欧州

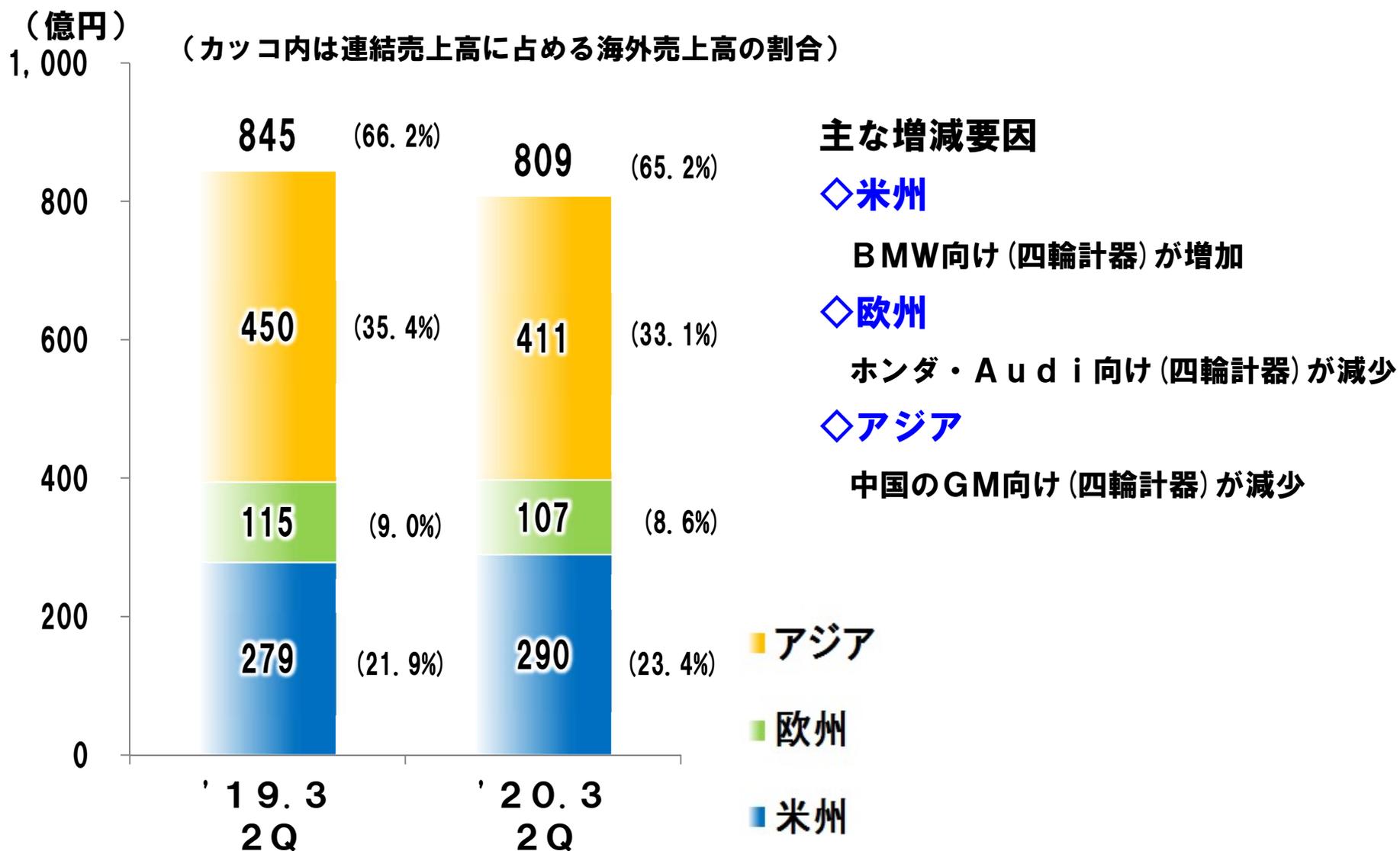
| | |
|------|------|
| 四輪計器 | -9億円 |
|------|------|

◇アジア

| | |
|------|-------|
| 四輪計器 | -22億円 |
|------|-------|

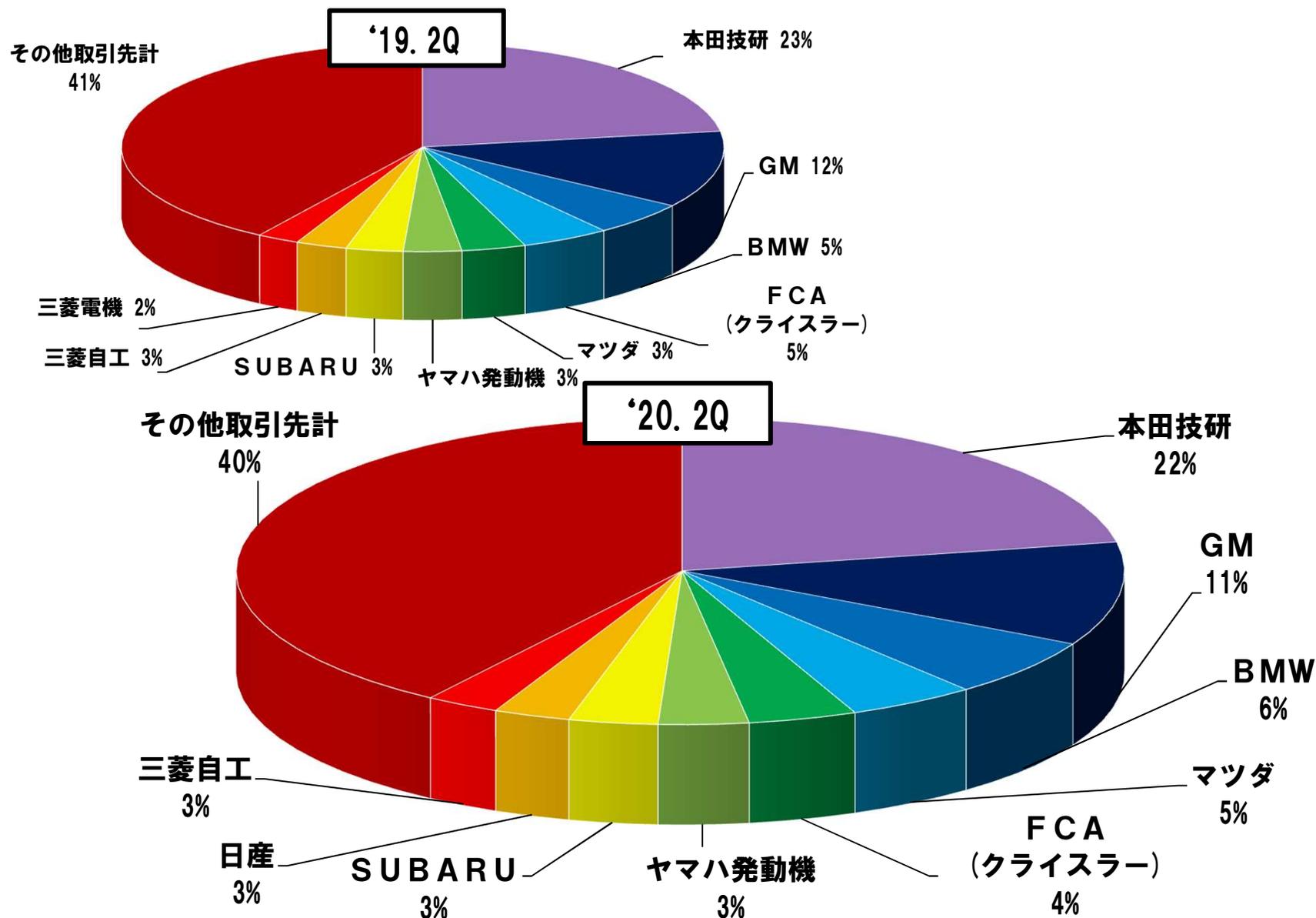
海外売上収益

2020年3月期
第2四半期



得意先別売上構成

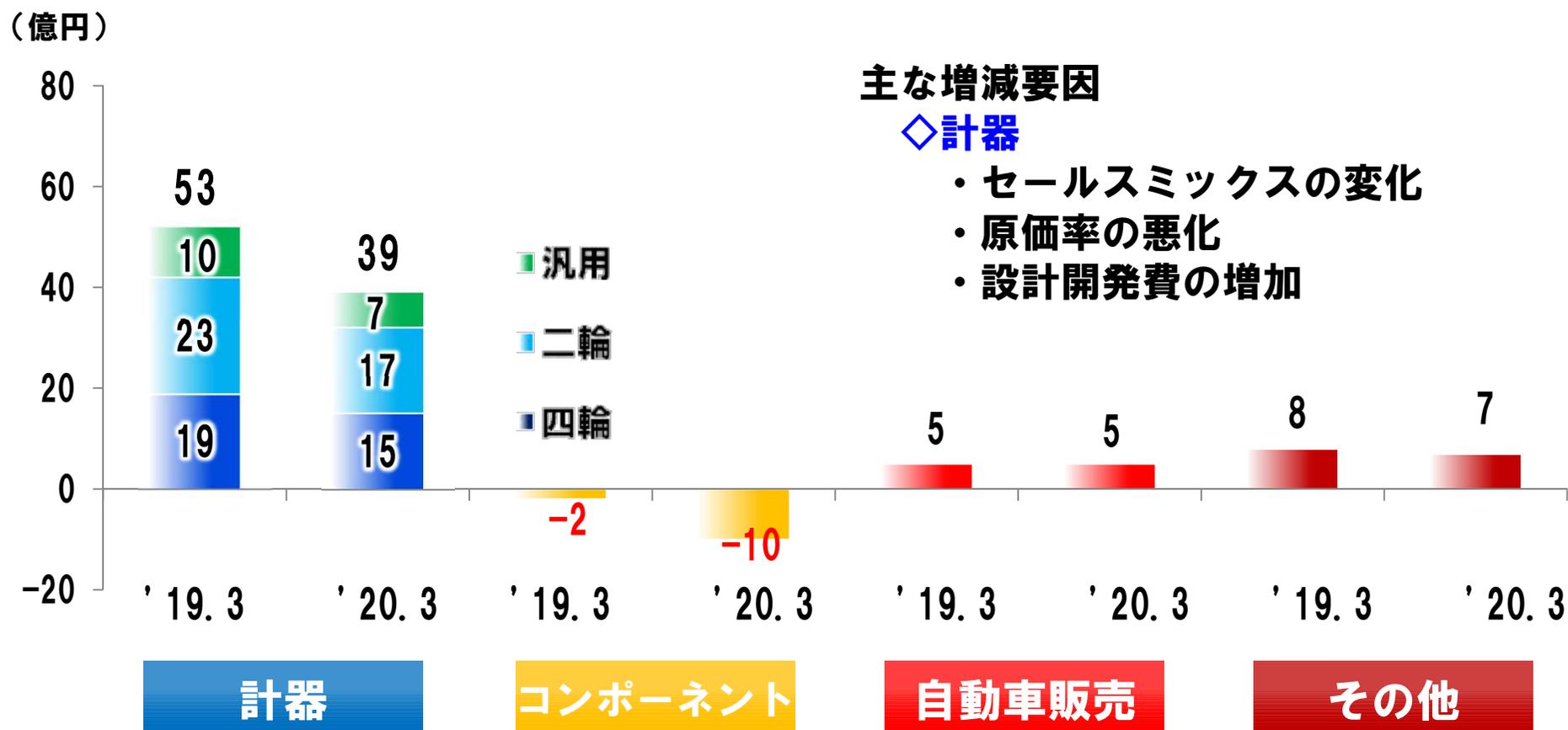
2020年3月期
第2四半期



事業別 営業利益

2020年3月期
第2四半期

| | '19年3月期 第2四半期 | '20年3月期 第2四半期 | 増減 |
|------|------------------|------------------|--------|
| 営業利益 | 60億円 | 41億円 | -31.1% |

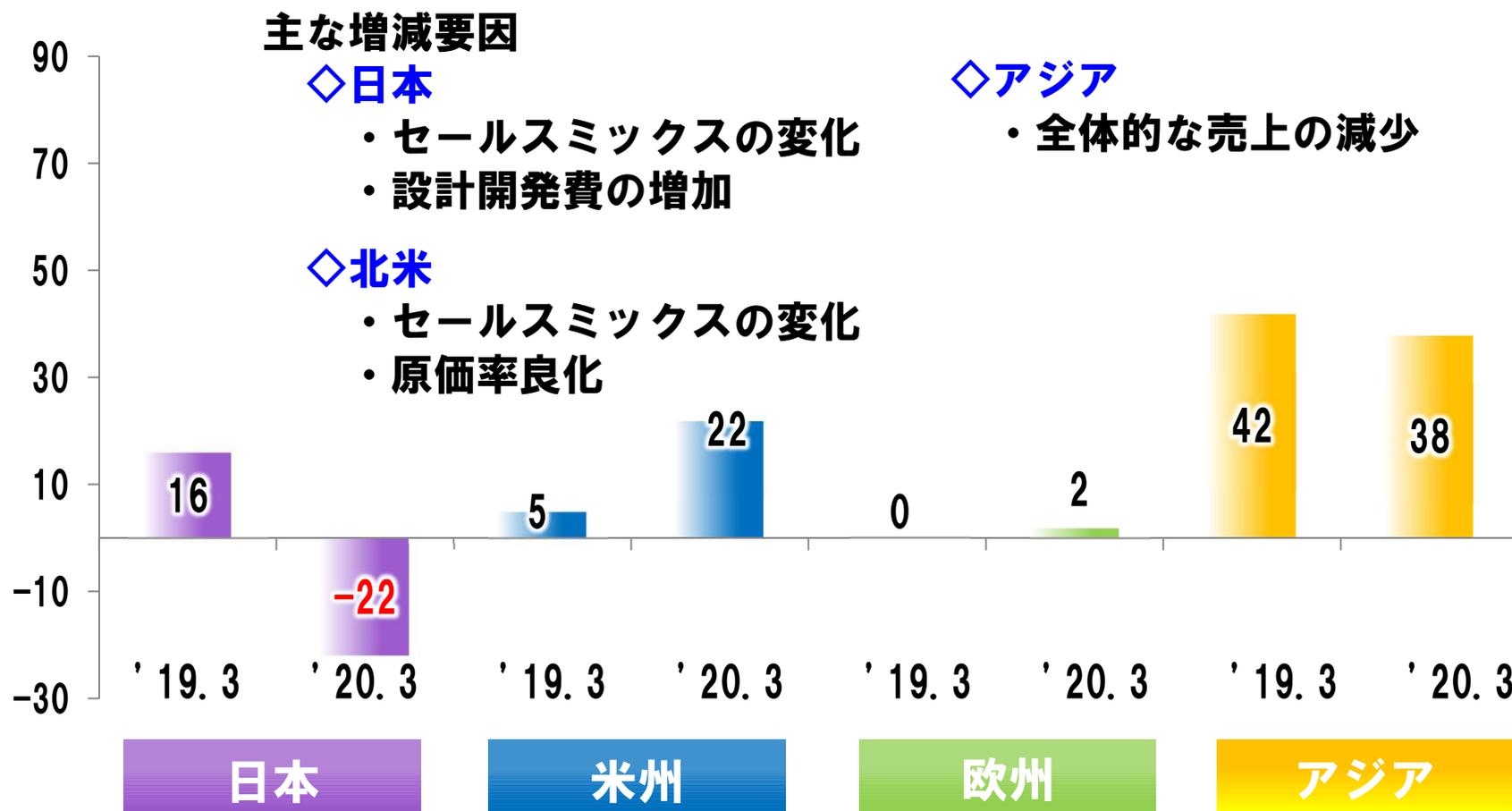


所在地別 営業利益

2020年3月期
第2四半期

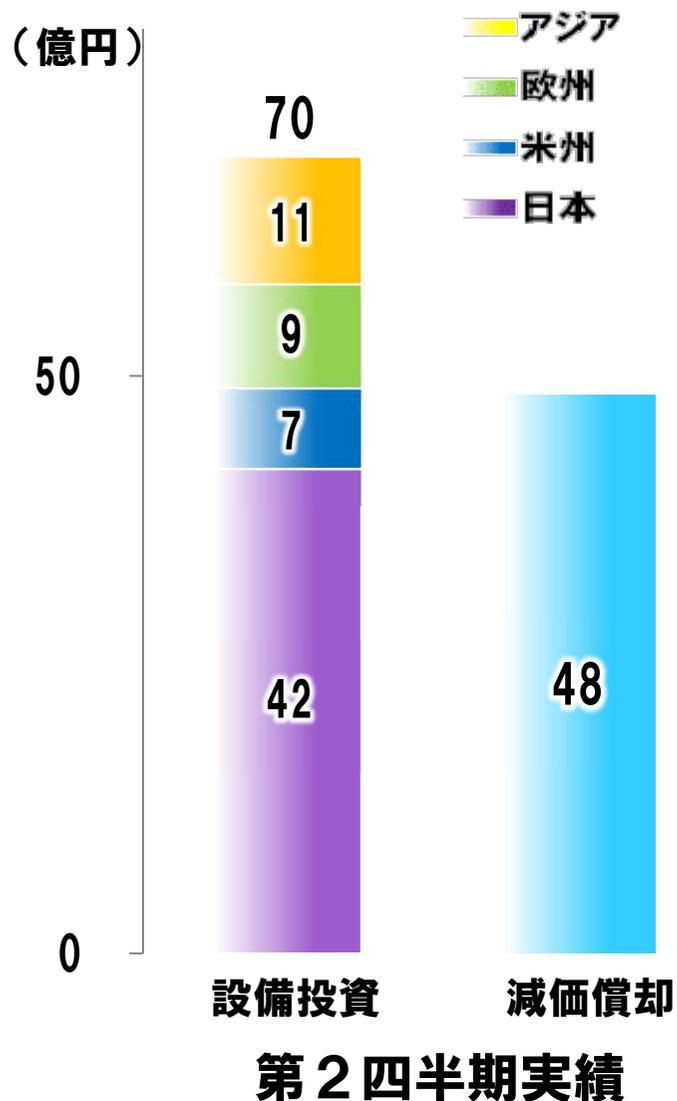
| | '19年3月期 第2四半期 | '20年3月期 第2四半期 | 増減 |
|------|------------------|------------------|--------|
| 営業利益 | 60億円 | 41億円 | -31.1% |

(億円)



設備投資額、減価償却費

2020年3月期
第2四半期



地域別内訳

(主な投資内容)

アジア 11.0億円

| | | | |
|--------------|---|-------|---------|
| TNS (タイ) | : | 5.6億円 | (工場増築) |
| INS (インドネシア) | : | 1.7億円 | (新機種対応) |

欧州 9.1億円

| | | | |
|--------------|---|-------|---------|
| NSPL (ポーランド) | : | 5.6億円 | (工場建築) |
| UKNSI (イギリス) | : | 2.9億円 | (新機種対応) |

米州 7.6億円

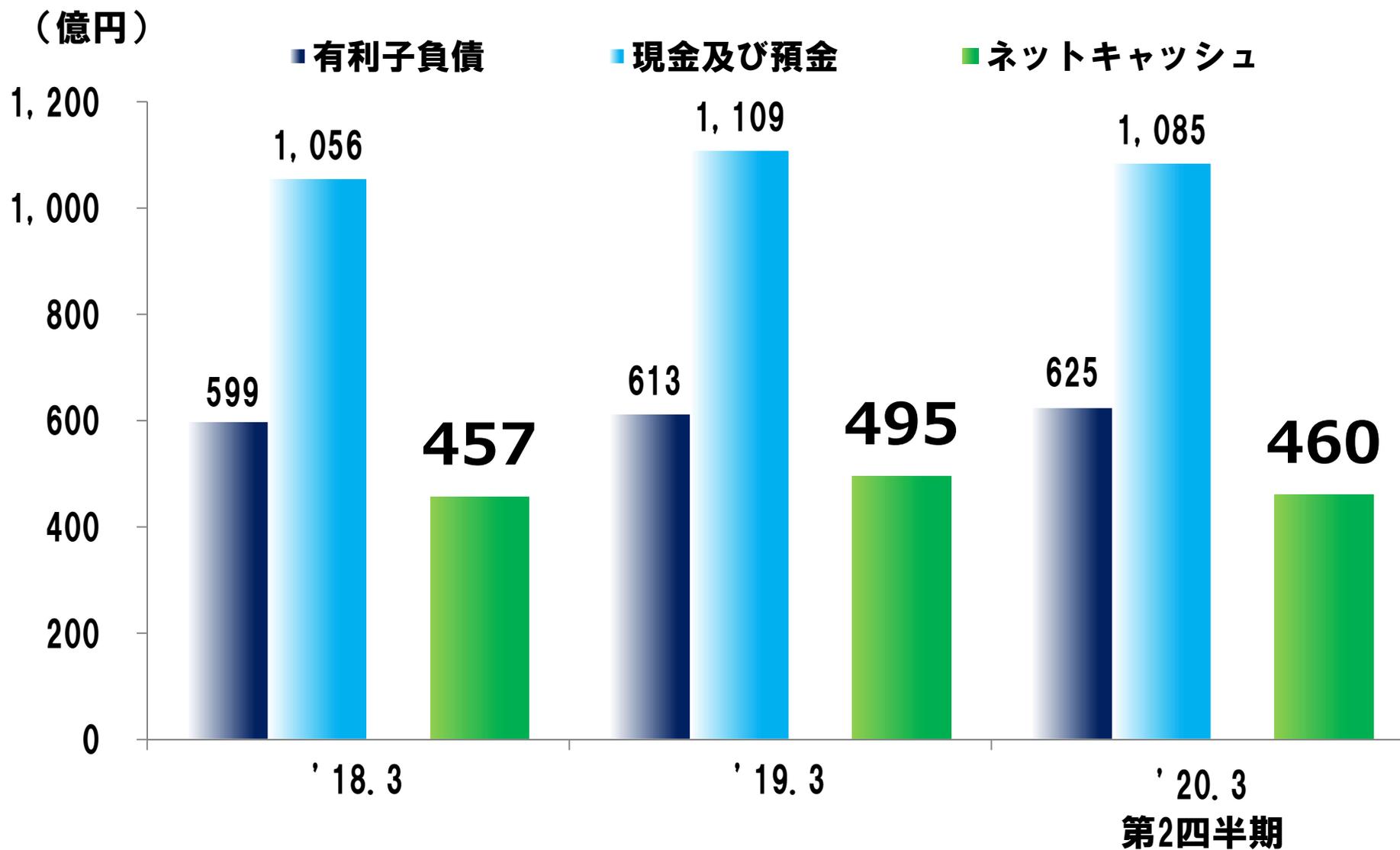
| | | | |
|-------------|---|-------|---------|
| NSMX (メキシコ) | : | 2.7億円 | (新機種対応) |
| NSII (アメリカ) | : | 2.2億円 | (新機種対応) |
| NSI (アメリカ) | : | 2.1億円 | (新機種対応) |

日本 42.6億円

| | | | |
|-----------|---|--------|---------|
| 本社 | : | 21.8億円 | (新機種対応) |
| NSV (小千谷) | : | 10.5億円 | (工場建築) |

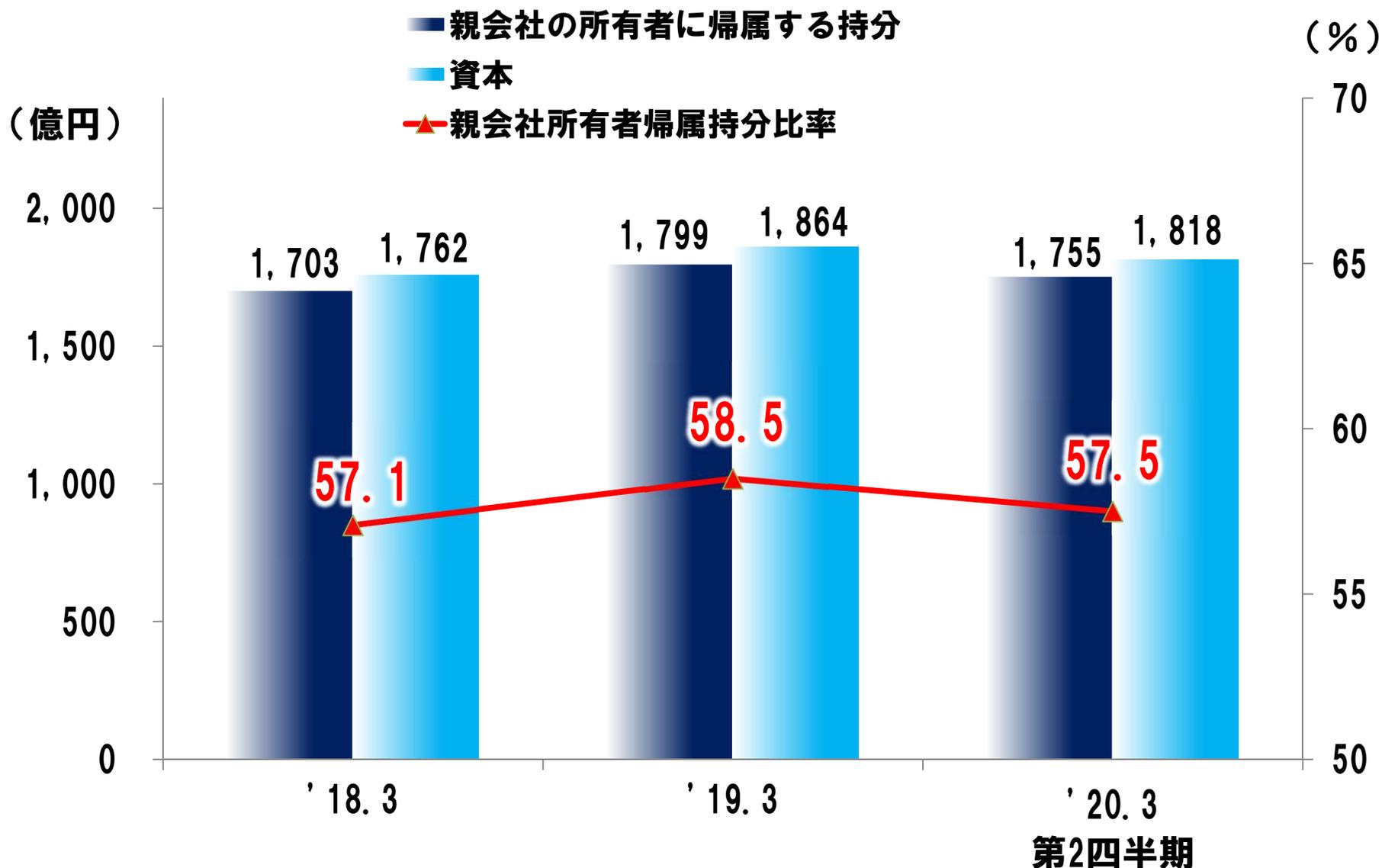
有利子負債と現預金

2020年3月期
第2四半期



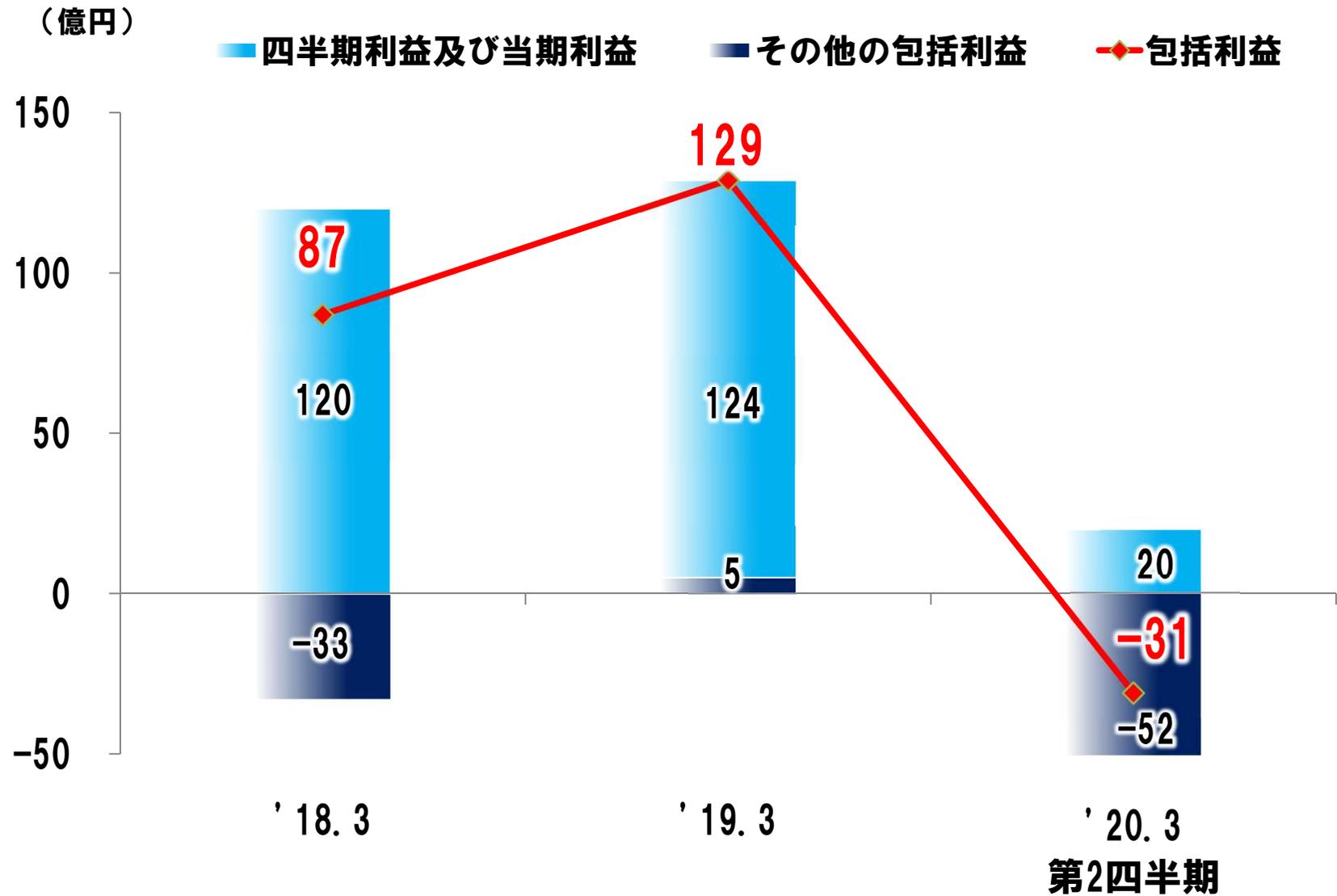
自己資本額、自己資本比率

2020年3月期
第2四半期



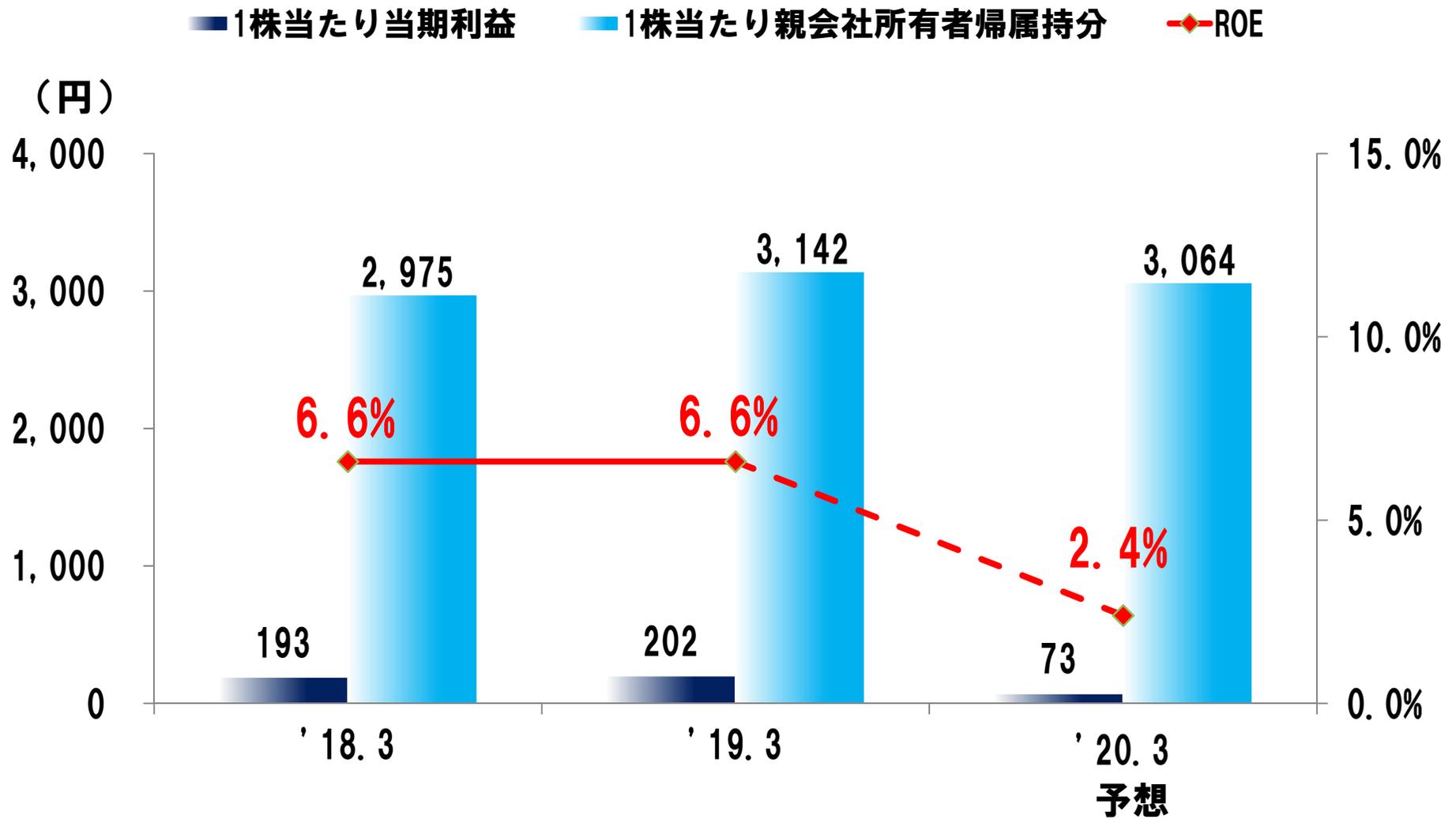
包括利益推移（連結）

2020年3月期
第2四半期



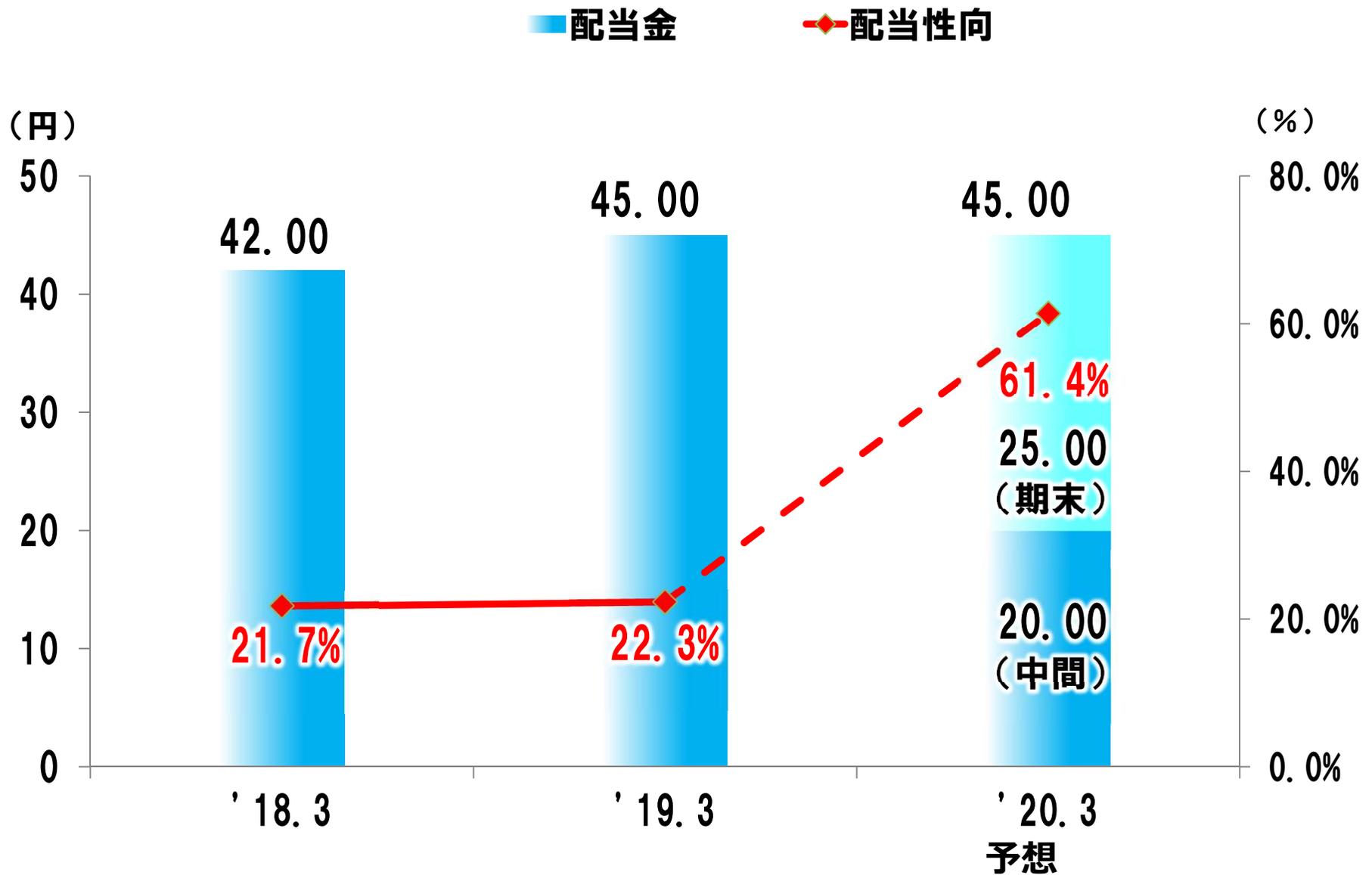
ROE（株主資本利益率）

2020年3月期
第2四半期



株主還元・配当性向（連結）

2020年3月期
第2四半期



2020年3月期 業績予想

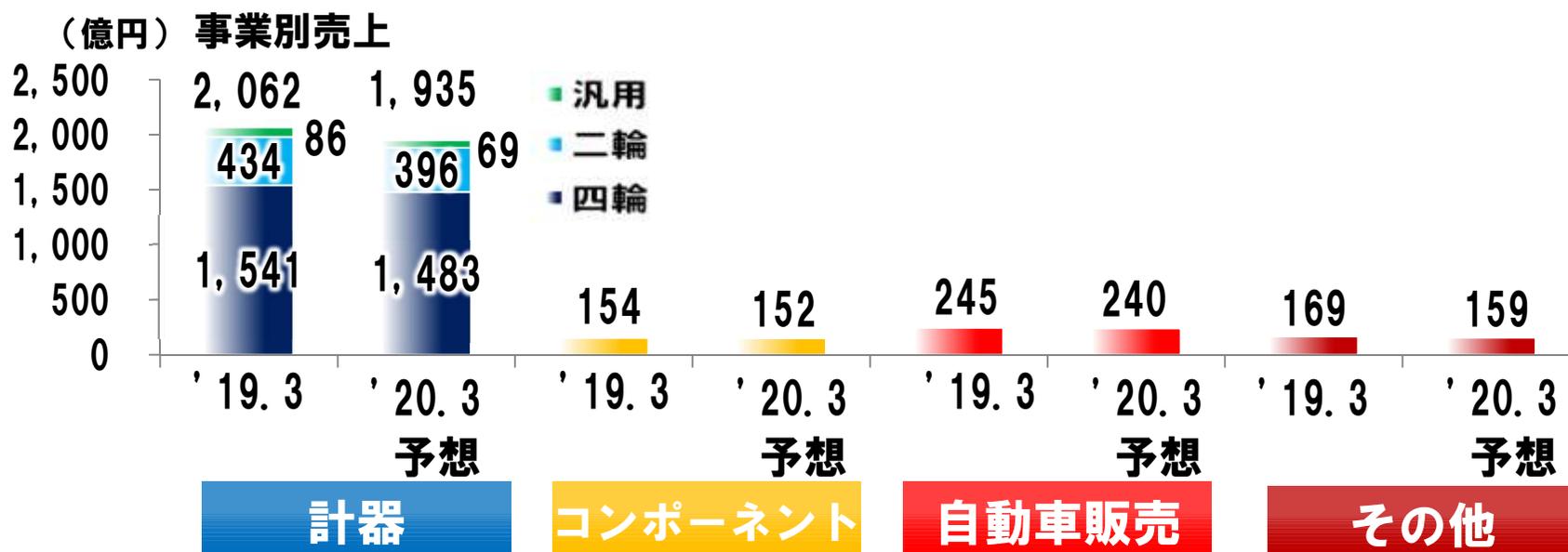
2020年3月期
第2四半期

(百万円)

| | '20年3月期 (今期予測) |
|----------------------|-------------------|
| 売上収益 | 250,000 |
| 営業利益 | 6,000 |
| 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | 4,200 |
| 基本的1株当たり 当期利益 | 73.33円 |
| 為替 (USドル) | 107.00円 |

業績予想 事業別売上／営業利益

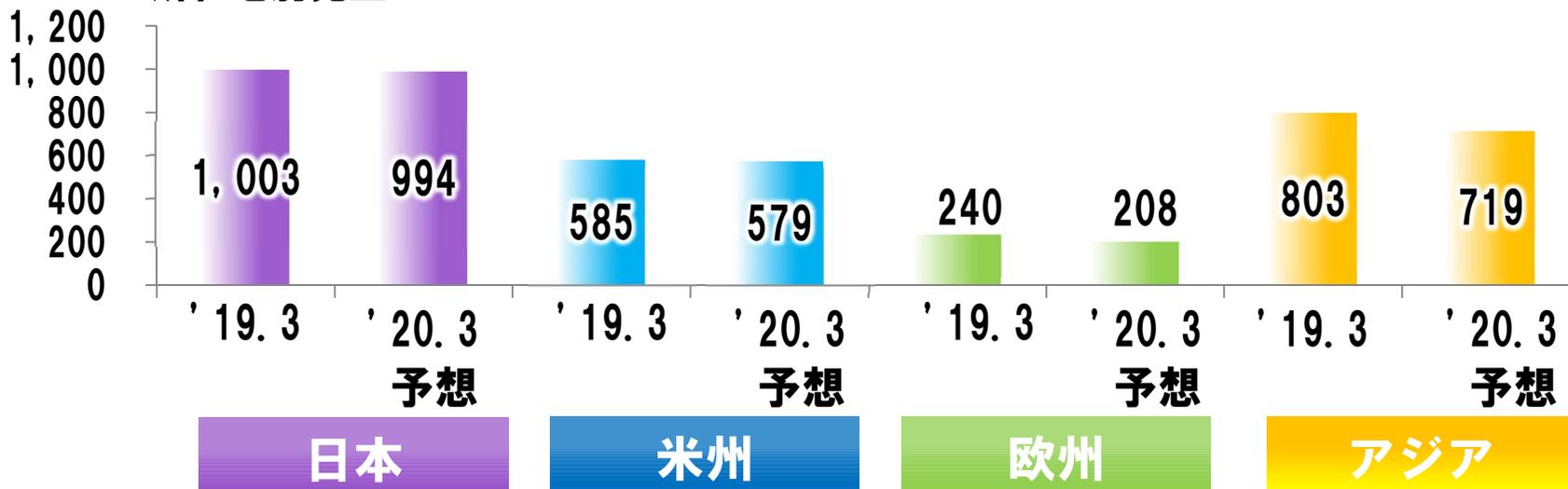
2020年3月期
第2四半期



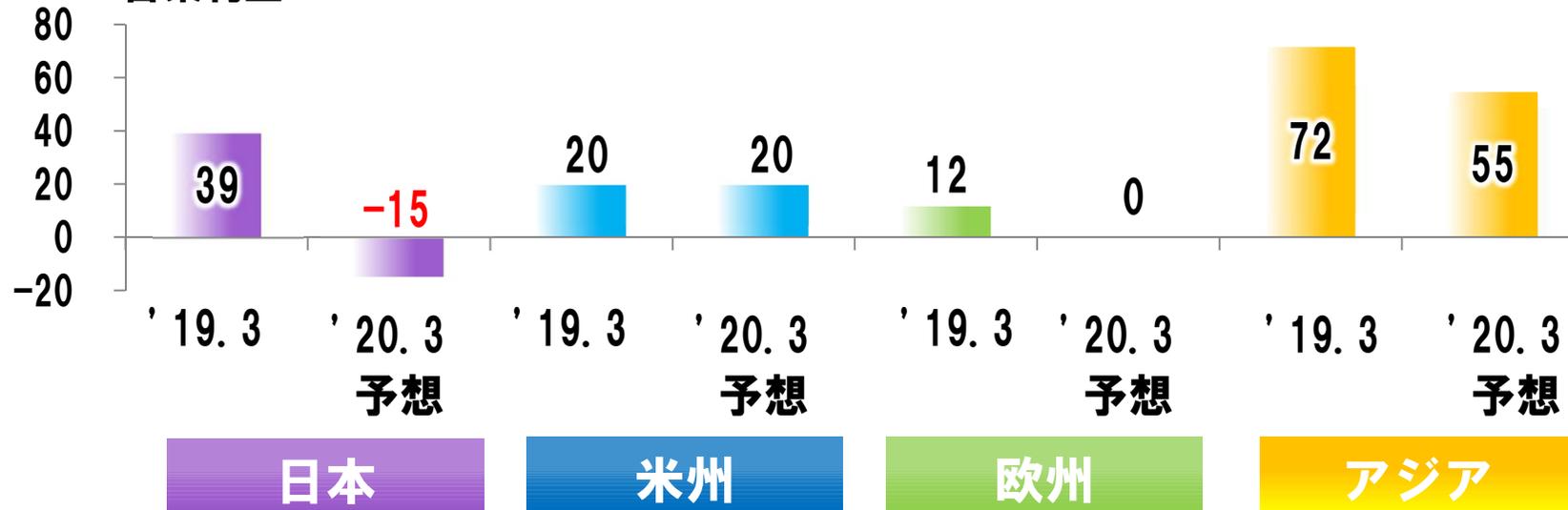
業績予想 所在地別売上／営業利益

2020年3月期
第2四半期

(億円) 所在地別売上

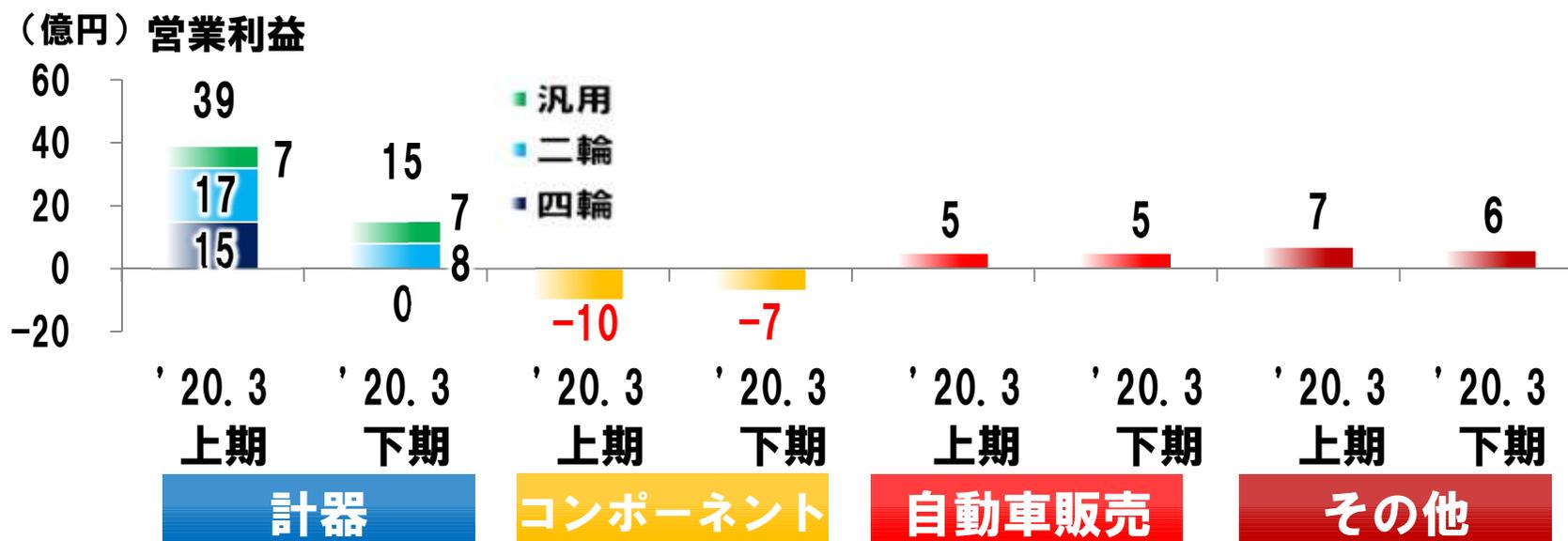


(億円) 営業利益



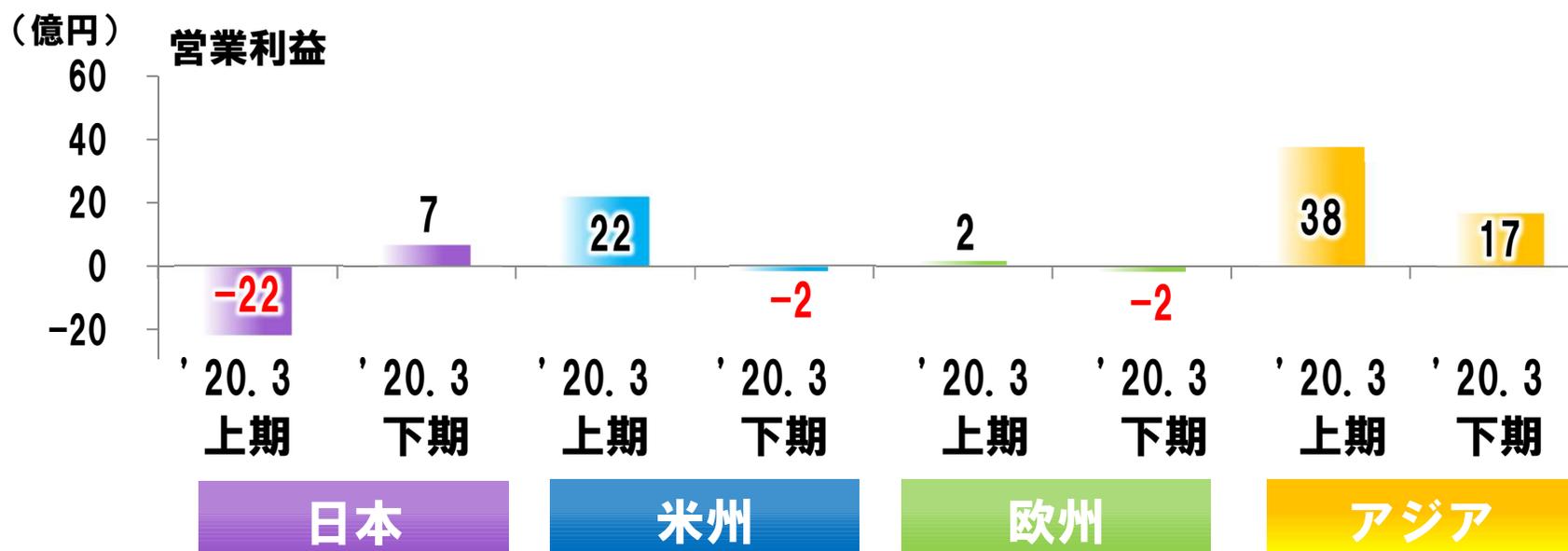
業績予想 事業別売上／営業利益

2020年3月期
第2四半期



業績予想 所在地別売上／営業利益

2020年3月期
第2四半期



本日も説明する内容

- 2020年3月期 第2四半期 決算概要
- 中長期成長戦略

中長期成長戦略

1. 中期経営計画

- 経営ビジョン N E M S 4 3 3
- 新中期経営方針 (2018年～2020年)

2. 事業の強化/拡大

- HUDの事業拡大
- ものづくり競争力強化

経営ビジョン NEMS 4 3 3

NEMS = NS (日本精機) 型EMS

保有技術の組み合わせ と、すり合わせ技術 により、

顧客ニーズを製品化する『つなげる』ビジネスで持続的成長をはかる



4つの大切

グループ経営の礎として、いつまでも変えることなく大切に

- ①志
- ②社会
- ③お客様
- ④人



3つの価値 つなげる価値をかたちにする

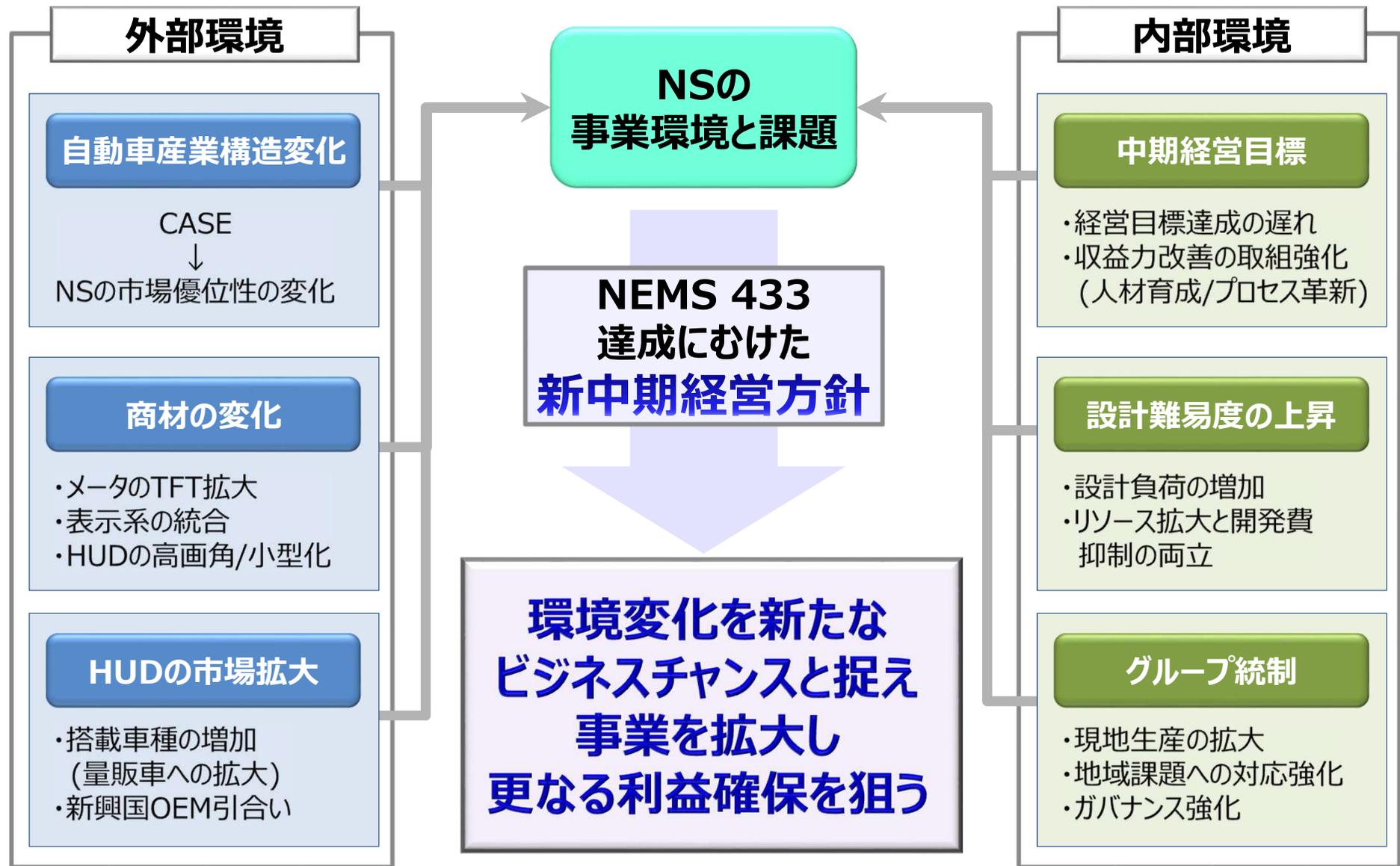
- 人と人をつなぐ ⇒ 求める価値を共有
- 人と技術をつなぐ ⇒ 新しい価値を提供
- 人と情報をつなぐ ⇒ 共通の価値を拡張



連結売上高 3,000億円

連結営業利益 300億円

市場変化に伴う成長戦略



中期経営方針

中期経営方針（2018年～2020年）

NEMSビジネスの新展開とグローバル化

市場（顧客）要求を実現するため、
グループ連携を強化しNEMSビジネスをグローバルで拡大

①人材育成

②品質改革

③技術の進化

④コスト競争力

⑤プロセス革新

⑥システム構築

中期経営目標（2020年）

連結売上高 **： 2,800億円**

重点施策

既存事業の強化

商品力
(顧客価値向上)

提案力
(新たな技術提案)

価格競争力
(更なるコスト低減)

周辺市場への拡大

新たな価値を
新たな市場へ提供

N E M S
4 3 3

への取り組み

・次世代コックピットを見据えた
事業開発

・HUDの事業拡大

・ものづくり競争力強化

・設計開発機能の強化

・EMS/コンポーネント
事業の拡大

HUDの事業拡大/ものづくり競争力強化

HUDの事業拡大

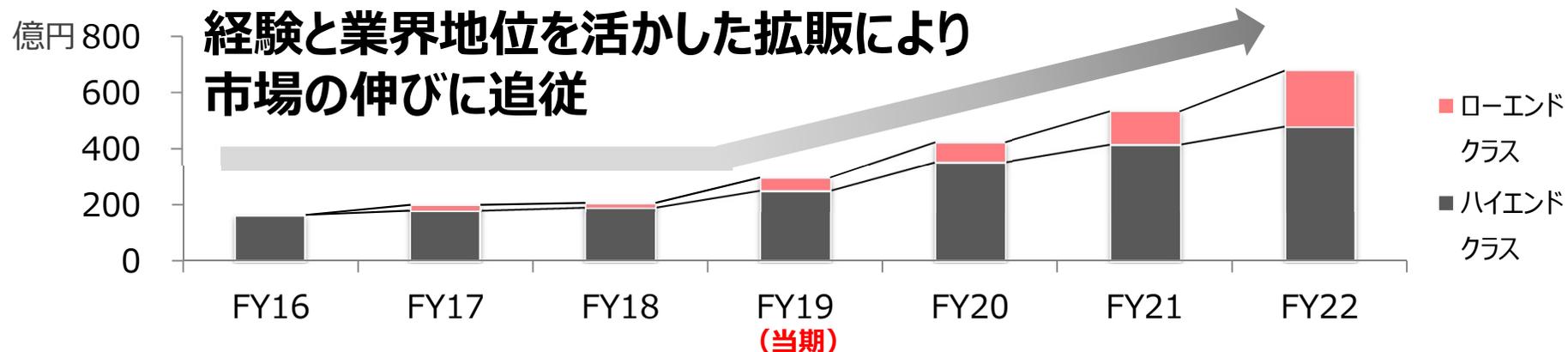
- HUD事業の見通し
- HUD事業の開発拠点を拡張

ものづくり競争力強化

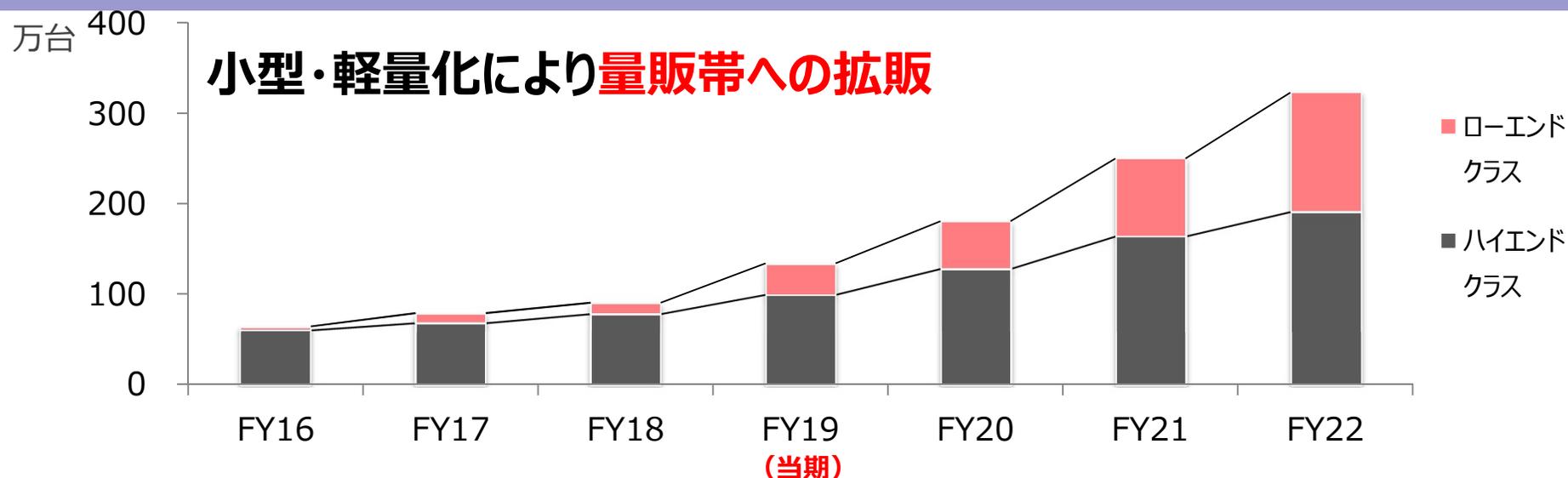
- NSものづくり方針
- NSコンセプト工場 / HUDコンセプトライン
- ものづくりマネジメント体制構築

HUD事業の見通し

売上高予測

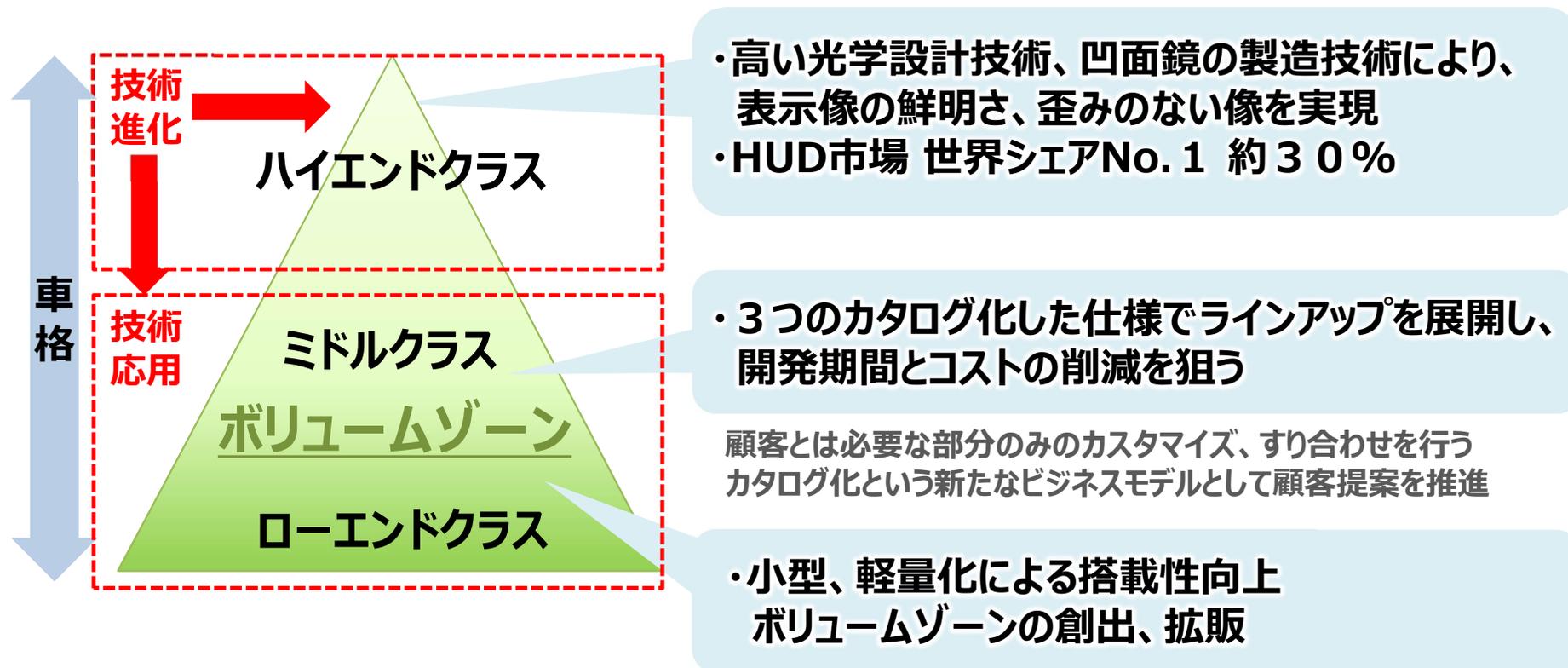


生産台数予測



HUD事業の見通し

トップシェア企業として市場の創出に貢献する



市場を牽引してきた高度な技術力を活かし、
小型・軽量化、ローコスト化を実現し、量販帯への搭載を拡げる

HUD事業の開発拠点を拡張

東京R&Dセンター開設と次世代HUDの要素技術開発強化

(1) 東京開発拠点の拡張

東京営業所/東京テクニカルセンターの入居する田端ASKAタワーに、東京R&Dセンターを開設(10月1日)

- ・HUDの受注拡大を見据えた製品開発力の強化
- ・顧客、サプライヤーとの連携深化により、先端技術開発やソフト技術開発を進展

(2) 次世代HUDの要素技術開発強化

パイオニア株式会社が進めていたレーザースキャン方式HUDの基幹部品であるプロジェクター及びPGU(※)に関する知的財産を取得、製品開発と製品化に係る人材を迎え入れ

※PGU(Picture Generation Unit)=画像生成ユニット

東京R&Dセンターは、要素技術開発部門約40名(パイオニア社からの迎え入れ)及び既存の開発部門約10名、合計約50名体制でスタート

- HUDの
- ・小型化
 - ・画像の品位性と認知性向上
 - ・低消費電力化への開発を加速



HUD事業の開発拠点を拡張

NSとレーザー技術とのシナジー効果

自動車産業を取り巻く環境としてはHUD普及の大きなチャンス

EV自動車普及による HUD搭載性向上

従来、エンジンが搭載されていた
スペースに空きが生じる

高齢者の事故減少に 有効なHMI

HUDは視線移動不要で正面を
向いたまま安全に情報入手可能

■ NSの強み 広画角と高画質を両立する技術

※HMI : Human Machine Interface

- ・光学設計技術
- ・表示制御技術
- ・熱制御技術
- ・高い生産技術 など

■ レーザーの特質を生かした技術

- ・鮮やかな色彩
- ・高い光利用効率
- ・HUD本体の小型軽量化

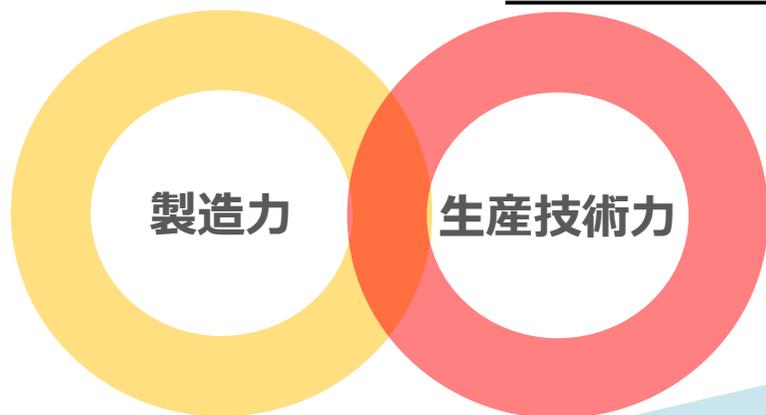
- ◆ 更なる広画角化
- ◆ 更なるHUD本体の小型化
- ◆ 更なる軽量化・省電力化
- ◆ 更なる高認知性
- ◆ 10m先に目標160インチクラスの映像
2026年量産開始を目指す

両社の融合によるシナジー効果で
トップシェアの企業の地位を堅守

NSものづくり方針

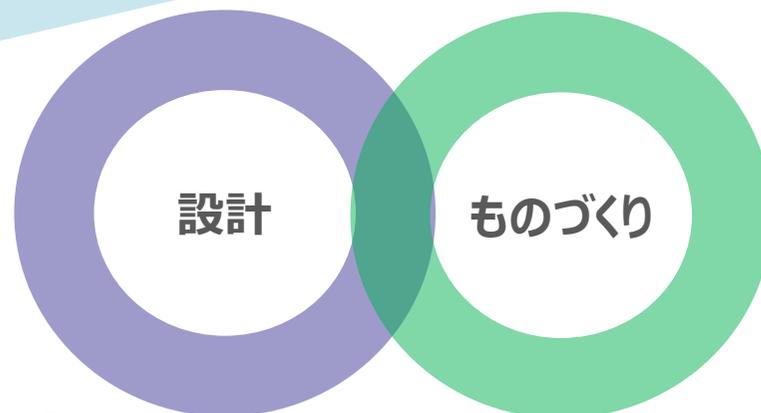
ものづくり本部方針

「ものづくり企業集団」として事業の拡大成長



設計との連携を強化し、**生産技術力を向上**させ
“**製造の力**”と“**生産技術の力**”を**両輪**として
他社に負けない**ものづくりの体制**にもっていく

ものづくり力の更なる強化



造りから設計への**提案型**に

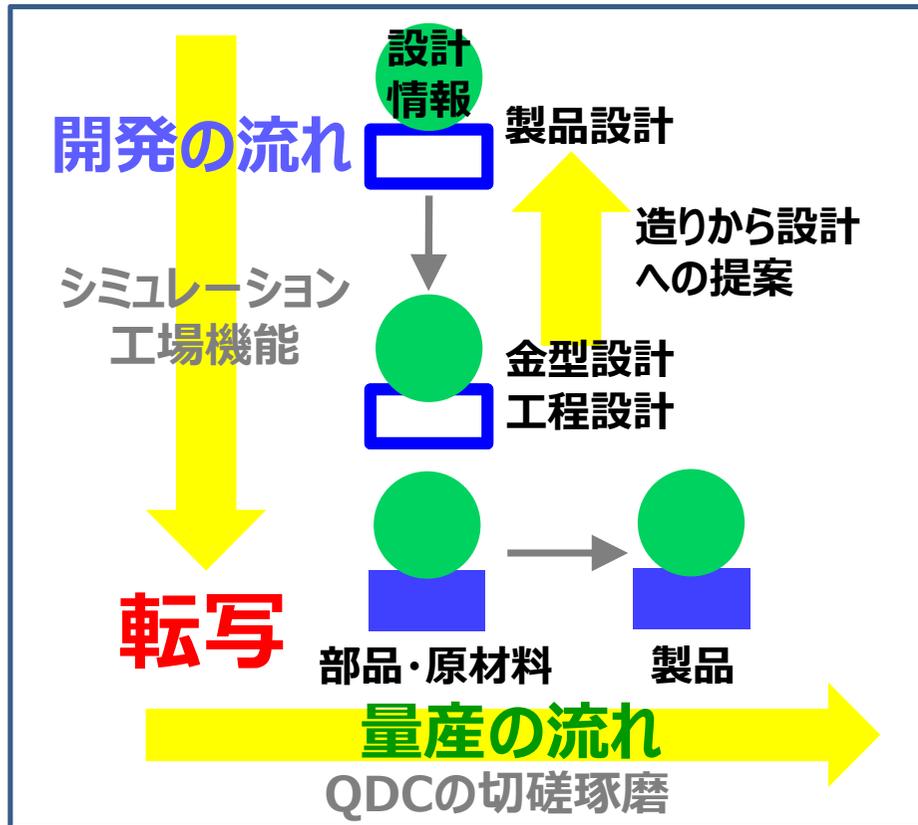
仕事のやり方を変えて行き“**設計**”と“**ものづくり**”を**両輪**として

グローバルで必要となる**製造技術の発祥地**となる

NSものづくり方針

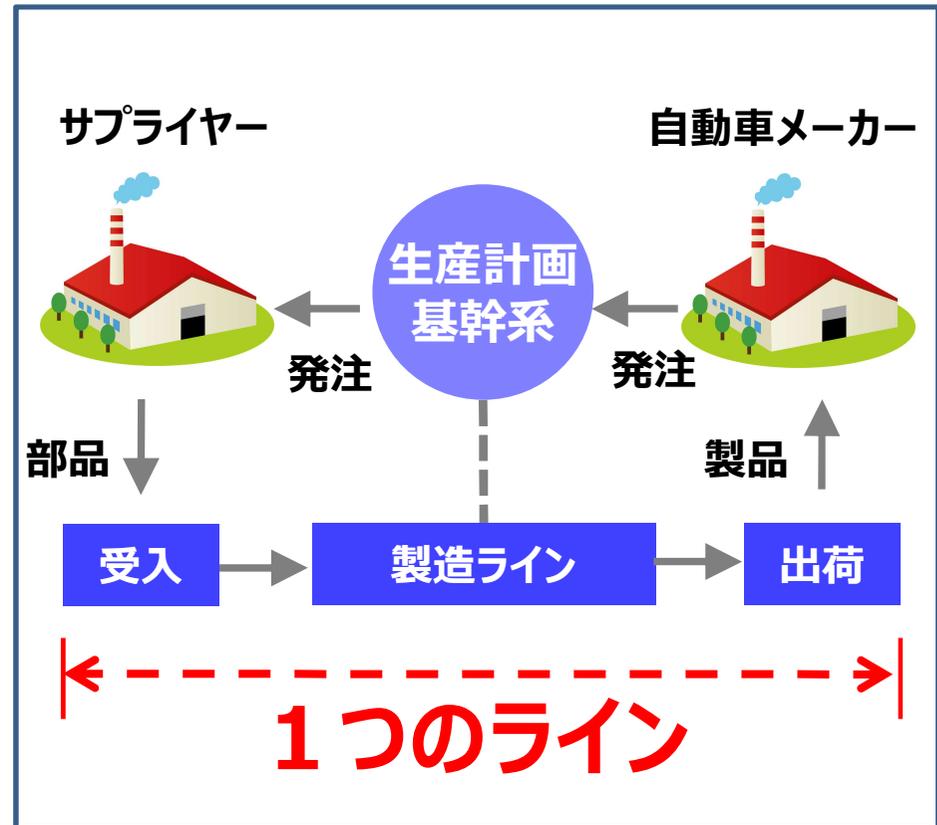
NSコンセプト工場

転写



ものづくりとは、設計情報を素材に転写し良い流れを造ること

受入から出荷までが1つのライン



部品受入から出荷までを1つのラインとして捉える

NSものづくり方針

NSコンセプト工場

目的

NSコンセプト工場の思想を織り込んだ生産ラインを長岡工場に設置し、技術確立と効果出しを行い、海外展開を行う

方針

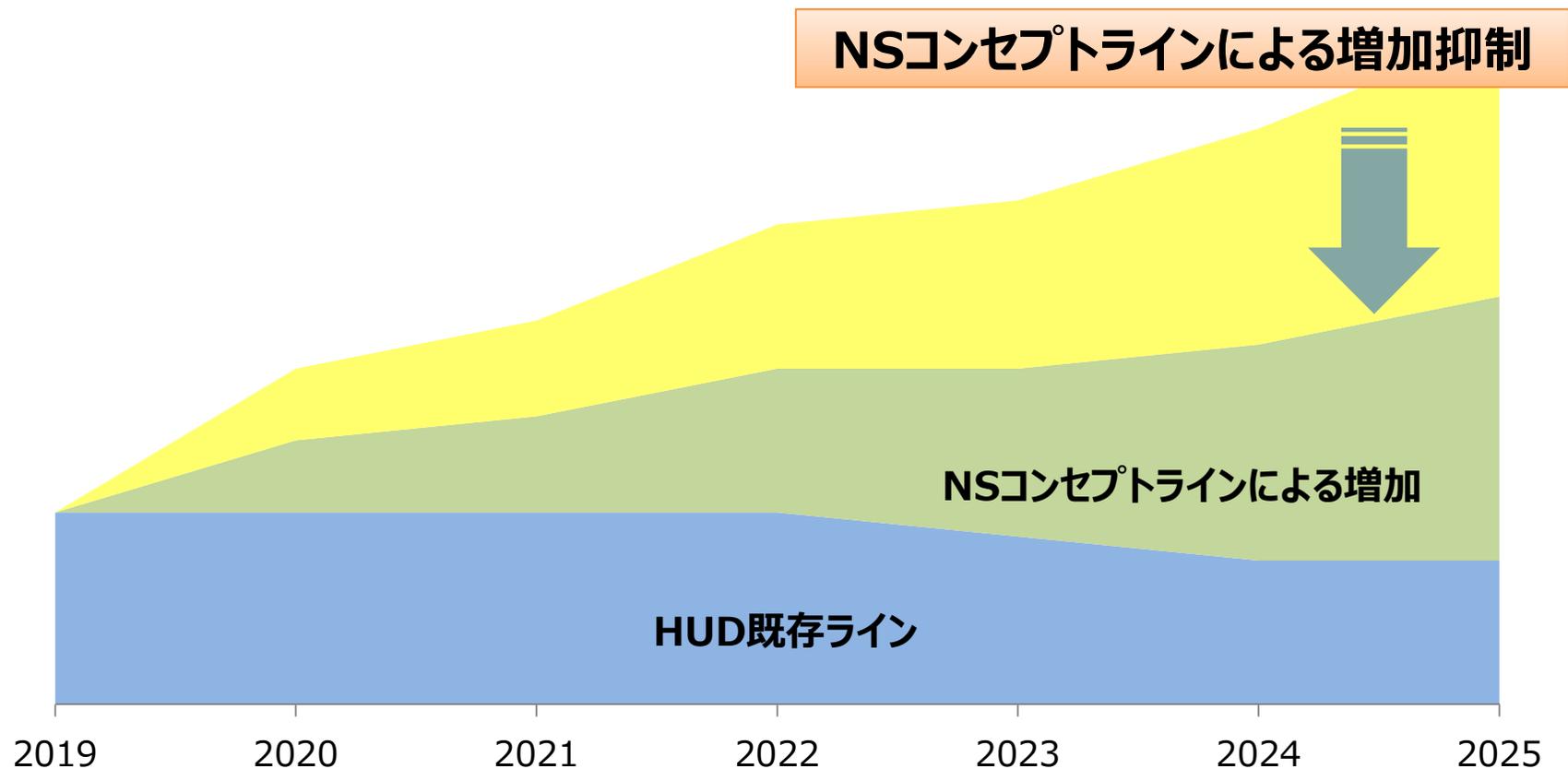
1. 人基準（人にやさしい、無駄な動作・作業をさせない）
2. フレキシブル（組合せやレイアウトは自由自在）
3. ユニット化（標準化・カタログ化し自由に選択できる）
4. 付加価値の無い作業はさせない（**自動化**）

目標

- ①生産性 2倍
- ②加工費 30%低減
- ③面積効率 2倍

NSコンセプトラインの展開

中期 HUDライン本数イメージ



NSコンセプトラインの開発により生産性・面積効率を向上し、
HUD増産に対する能力を増強していく

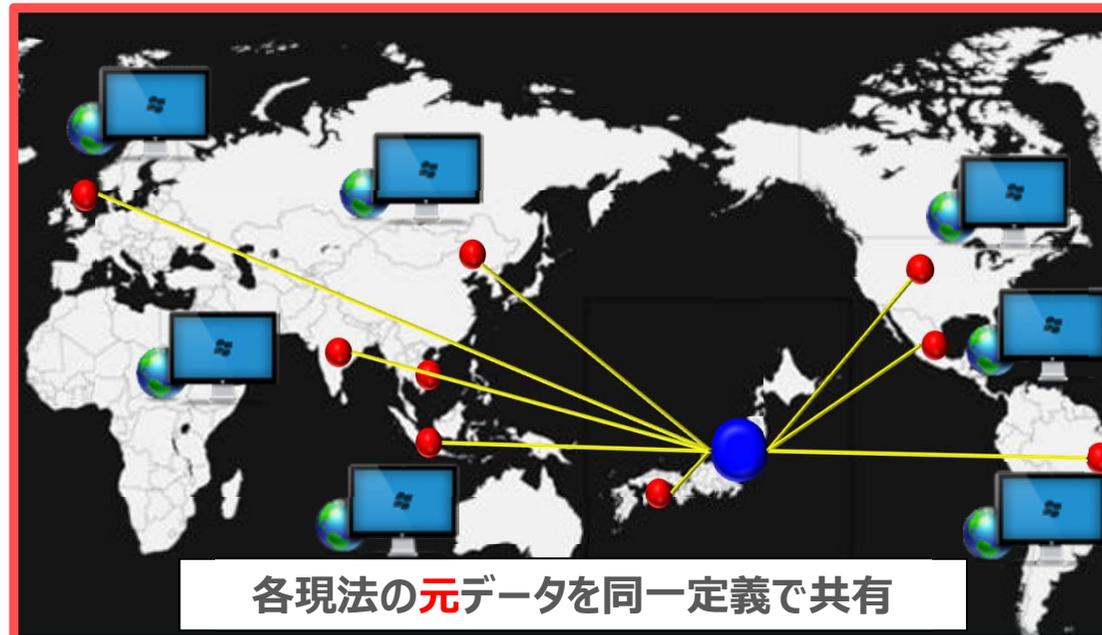
ものづくりマネジメント体制構築

体制構築を支える仕組み 現場を繋ぐ

【Before】



【After】



サーバーの接続により、各拠点・製品群での比較や、データの相互利用が可能に

➡ 競争力強化

ものづくりマネジメント体制構築

現場を繋ぐ(情報の共有とデータ活用)ことで仕事のやり方を変える

【Before】



- ・報告型実績報告会(過去の会話)
- ・集計、分析に時間を掛けている
- ・個別データで全体像が不明
- ・毎月報告内容が変わらない

【After】



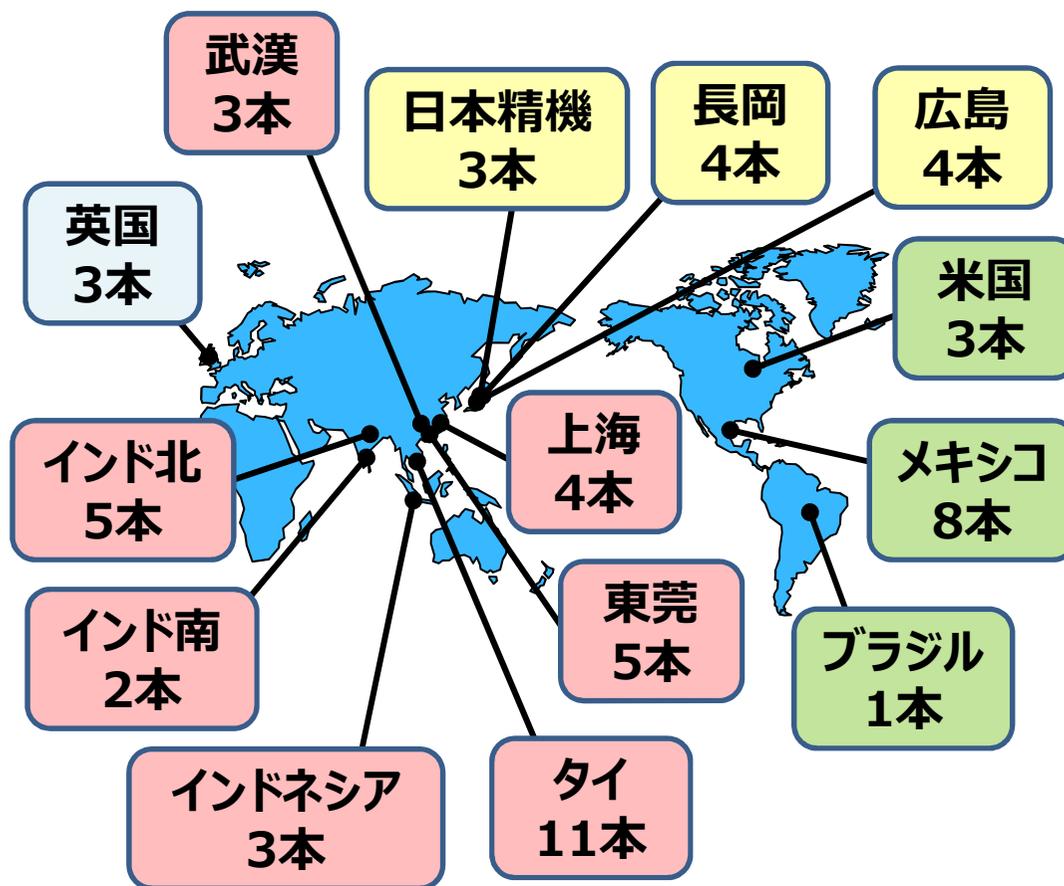
- ・リアルタイム実績によるアクション
- ・集計レスとA B C分析の自動化
- ・多角的視点による分析
- ・異常値のアラート発信・止める

今現在の事実に基づいた改善と効率的なPDCA

新たな事業拡大への体制整備

SMT(基板実装機)ラインを効率的に活用

汎用的なSMTラインをグローバルで展開



グループ所有SMTライン：59本

- ・82億チップ/年 搭載可能
- ・データ互換及び生産拠点間の相互補完可能



既存設備を効率的に活用し
新たな事業(車載EMS)
拡大への体制を整備

ものづくり競争力強化

HUDの生産が増加し、投資も増加していく見込み

コンセプトラインの構築
グローバル展開

投資効率・生産効率の向上

情報共有による
グローバルマネジメント

品質管理・業務効率の向上

競争力強化

ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。

Your Safety, Our Delight.

安全と安心に満ちた未来のために

